

「好事魔多し」ということ

工学部長 伊藤 洋

昔話の『花咲爺さん』には善悪の象徴のような二人のお爺さんが出てきます。あれは、本当は一人のお爺さんの二つの心を描いたものではないかと私は思っています。ポチの吠え声によって宝をモノしたお爺さんは、すっかりバブル経済に浮かれて不良債権を作り出し、困ってもう一度ポチに吠えさせてみたら今度はガラクタばかり出てきてしまった。反省して良いお爺さんに戻ったので、ご褒美に枯れ木に花を咲かせるようなワザを得たものの、有頂天になって賭け事に手を出して没落。夢よもう一度と再挑戦した花咲かせ術は大失敗、ついにウチクビ獄門となったのではないかというわけです。事ほど左様、人生は成功が原因で失敗につながるものだと、この話は教えているのだと思います。

新入生の皆さん、今日こうして山梨大学に入学できたのは、成功ですか？失敗ですか？失敗だということであればひとまずよろしい。成功を目指して今日からやり直せばよい。成功だということであれば要注意だ。ウチクビ獄門が待っているかもしれない。

工学部は、原則としてエンジニアを目指して学ぶ学部です。ここを卒業したら世界を股にかけて技術者として生きていくこととなります。世界を股にかけるといのは誇張ではありません。今後、技術者になるためには世界標準の実力があることを客観的な評価として持っていないといけないことになっているからです。この認定機関を JABEE (Japan Accreditation Board for Engineering Education) といいます。世界標準の技術者教育機関である大学で、そこが要求する水準をクリアした者だけを「技術士」として認定するという制度がいよいよ始まります。本学工学部はそういう機関認定校となるように準備を始めています。今年から機械システム工学科の一部でその試行を開始します。他の学科も順次始めます。こういう機関を卒業した人には国際標準に準拠した「技術士」の資格が与えられますが、認定を維持するために「不良品」を作ることが許されません。日本の大学は、入学は難しいがトコロテンのように出るのはラクチンなどと高をくくっている学生は、よほど気をつけないとウチクビ獄門になること間違いなしです。

入学できたことを成功と思っている君、「好事魔多し」。こういうときこそ危ない。勝って兜の緒を締めなおす覚悟が今こそ絶対に必要だ。成功を祈る。